

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成21年3月12日(2009.3.12)

【公開番号】特開2006-313545(P2006-313545A)

【公開日】平成18年11月16日(2006.11.16)

【年通号数】公開・登録公報2006-045

【出願番号】特願2006-123586(P2006-123586)

【国際特許分類】

G 0 6 F 9/48 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 9/46 4 5 2 Z

【手続補正書】

【提出日】平成21年1月22日(2009.1.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

データ処理システムにおいて、自動リソース・プロビジョニング管理システムを管理するための方法であって、

リソース・プロビジョニング管理システムから複数のプロビジョニング・オペレーションを受けるステップと、

前記複数のプロビジョニング・オペレーションの各特定のプロビジョニング・オペレーションを複数のワークロード・ジョブにおける対応する特定のワークロード・ジョブにリンクするステップと、

管理されるワークロード・ジョブのセットを前記複数のワークロード・ジョブから指定するステップと、

管理されるワークロード・ジョブの前記セットをグループ化するステップと、

管理されるワークロード・ジョブの前記セットの各ジョブのジョブ従属関係を識別するステップと、

管理されるワークロード・ジョブの前記セットの各ジョブをスケジュールするステップと、

管理されるワークロード・ジョブの前記セットの各ジョブを呼び出すステップと、

管理されるワークロード・ジョブの前記セットの各ジョブを監査するステップと

を含む方法。

【請求項 2】

管理されるワークロード・ジョブの前記セットの実時間ステータスを提供するステップを更に含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

管理されるワークロード・ジョブの前記セットを前記複数のワークロード・ジョブから指定する前記ステップ、管理されるワークロード・ジョブの前記セットをグループ化する前記ステップ、および管理されるワークロード・ジョブの前記セットの各ジョブをスケジュールする前記ステップが管理者によって手操作で修正され得る、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記管理者が、管理されるワークロード・ジョブの前記セットを前記複数のワークロー

ド・ジョブから指定する前記ステップ、管理されるワークロード・ジョブの前記セットをグループ化する前記ステップ、および管理されるワークロード・ジョブの前記セットの各ジョブをスケジュールする前記ステップを、ジョブ・スケジューラ・コンソールを使用して修正する、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

管理されるワークロード・ジョブの前記セットを前記複数のワークロード・ジョブから指定する前記ステップ、管理されるワークロード・ジョブの前記セットをグループ化する前記ステップ、管理されるワークロード・ジョブの前記セットの各ジョブのジョブ従属関係を識別する前記ステップ、管理されるワークロード・ジョブの前記セットの各ジョブをスケジュールする前記ステップ、管理されるワークロード・ジョブの前記セットの各ジョブを呼び出す前記ステップ、および管理されるワークロード・ジョブの前記セットの各ジョブを監査する前記ステップがワークロード・スケジューラによって実行される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

ワークロード・ジョブが失敗したことに応答して、回復ジョブを読み出すステップを更に含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

請求項 1 から 6 のいずれかに記載の方法のステップをコンピュータに実行させるためのコンピュータ・プログラム。

【請求項 8】

自動リソース・プロビジョニング管理システムを管理するためのデータ処理システムであって、

リソース・プロビジョニング管理システムから複数のプロビジョニング・オペレーションを受けるための受領機構と、

前記複数のプロビジョニング・オペレーションの各特定のプロビジョニング・オペレーションを複数のワークロード・ジョブにおける対応する特定のワークロード・ジョブにリンクするためのリンク機構と、

管理されるワークロード・ジョブのセットを前記複数のワークロード・ジョブから指定するための指定機構と、

管理されるワークロード・ジョブの前記セットをグループ化するためのグループ化機構と、

管理されるワークロード・ジョブの前記セットの各ジョブのジョブ従属関係を識別するための識別機構と、

管理されるワークロード・ジョブの前記セットの各ジョブをスケジュールするためのスケジュール機構と、

管理されるワークロード・ジョブの前記セットの各ジョブを呼び出すための呼出機構と、

管理されるワークロード・ジョブの前記セットの各ジョブを監査するための監査機構とを含むデータ処理システム。

【請求項 9】

管理されるワークロード・ジョブの前記セットの実時間ステータスを提供するためのステータス機構を更に含む、請求項 8 に記載のデータ処理システム。

【請求項 10】

管理されるワークロード・ジョブの前記セットを前記複数のワークロード・ジョブから指定するための前記指定機構、管理されるワークロード・ジョブの前記セットをグループ化するための前記グループ化機構、および管理されるワークロード・ジョブの前記セットの各ジョブをスケジュールするためのスケジュール機構が管理者によって手操作で修正され得る、請求項 8 に記載のデータ処理システム。

【請求項 11】

前記管理者が、管理されるワークロード・ジョブの前記セットを前記複数のワークロー

ド・ジョブから指定するための前記指定機構、管理されるワークロード・ジョブの前記セットをグループ化するための前記グループ化機構、および管理されるワークロード・ジョブの前記セットの各ジョブをスケジュールする前記スケジュール機構のオペレーションを、ジョブ・スケジューラ・コンソールを使用して修正する、請求項 10 に記載のデータ処理システム。

【請求項 12】

前記指定機構、前記グループ化機構、前記識別機構、前記スケジュール機構、前記呼出機構、および前記監査機構がワークロード・スケジュールの一部である、請求項 8 に記載のデータ処理システム。

【請求項 13】

ワークロード・ジョブが失敗したことに応答して、回復ジョブを読み出すための呼出機構を更に含む、請求項 8 に記載のデータ処理システム。